

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年5月13日（月）

2 確認箇所

免震重要棟集中監視室

3 確認項目

2号機燃料デブリ冷却状況確認試験（STEP2）の実施状況

4 確認結果の概要

原子炉注水停止時の手順の最適化や運転・保守管理上の改善等を行うことを目的とした2号機燃料デブリ冷却状況確認試験については、STEP1として2号機の原子炉注水量を低減する試験が平成31年4月2日～4月16日に実施され、原子炉の冷却状態に異常のないことが確認されている。

本日（5月13日）、2号機燃料デブリ冷却状況確認試験STEP2として、2号機原子炉注水を一時停止する試験が行われたことから、免震重要棟集中監視室において注水停止操作の状況を確認した。

- ・これまでの準備操作で2号機の給水系原子炉注水は停止しており、本日は、2号機の炉心スプレイ系原子炉注水を停止する操作が行われた。
- ・10時5分から作業が開始され、10時40分に2号機の炉心スプレイ原子炉注水量が $3.0 \text{ m}^3/\text{時}$ → $0.0 \text{ m}^3/\text{時}$ に変更されて、2号機の原子炉注水が停止された。1号機と3号機の原子炉注水量に大きな変動はなかった。
- ・免震重要棟集中監視室と現場の東京電力社員が緊密に連絡を取り合いながら、免震重要棟集中監視室におけるポンプの停止や電動弁の全閉操作が慎重に進められ、特に問題なく作業が終了した。
- ・STEP2の確認試験は、約7時間注水停止を継続後、STEP1で確認している $1.5 \text{ m}^3/\text{時}$ まで注水量を戻し、その後、24時間毎に $0.5 \text{ m}^3/\text{時}$ ずつ流量を増加し、試験前の $3.0 \text{ m}^3/\text{時}$ まで戻すことになっている。
- ・なお、5月13日18時8分から2号機の原子炉注水が再開され、18時54分に原子炉注水量が $0.0 \text{ m}^3/\text{時}$ → $1.5 \text{ m}^3/\text{時}$ に変更されている。

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。